

復興支援道路 みやぎ県北高速幹線道路事業だより

第9号 平成29年8月9日発行

8月になりました。まだまだ、現場は暑く日々、熱中症対策には細心の注意を払い工事を進めています。また、お盆休みも挟み、集中力が切れやすい時期ですが、今年度に入り現在まで県北道路Ⅱ期・Ⅲ期の工事現場は無事故継続中となっております。

このまま、安全に工事を進め、早期供用を目指しております。

今月号は「現場で働く人達の御紹介」と「現場研修」を報告します。

現場で働く人達の御紹介

(株)猪又組 及川 茂浩さん

今月号の、みやぎ県北道路の「現場で働く人達」は中田工区の道路排水工や管渠工といった、県北道路および周辺田圃地の排水関係を主に施工している(株)猪又組の及川代理人さんです。



- 氏名 及川 茂浩
- 年齢 55歳
- 趣味 ギター・バイク

■：県北道路に懸ける思い

県北幹線道路により中央部と沿岸部が結ばれることによって一段と復興が加速すると同時に、登米・栗原地区の皆様への利便性向上にも繋がる重要な路線となります。県北地域の活性化の一助となれるよう微力ではありますが貢献させて頂きたいと思っております。地域の皆様のご迷惑にならないよう注意を払いながら工事を進めて参ります。

■：現場のやりがい・大変さ

本工区内には他工事が混在しており、他業者との工程調整が必須であるとともに、安全管理においても単独工事の時より大変さはありますが無事故で完成できるように工事を行っています。

当社の担当区間（約2.4km）内に農業用水路として17箇所横断管渠を設置します。現在盛土の下に埋設されている仮設の水路を撤去し横断管渠を新たに設置することになっています。地域の重要な産業を支える大切な設備となりますので注意を払いながら施工して行きます。

■：現場からのメッセージ！！

地域の皆様には日頃よりご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

地元登米市の会社として東日本大震災以降、三陸自動車道の整備工事に携わってまいりました。

今度は県北道路の現場に於いて今まで得た知識と経験を活かし皆様の生活のお役に立てるような仕事ができるよう工事を進めて参りますので、今後ともご協力の程よろしくお願いたします。

現場研修を開催しました

中田工区の現場も盛土が概ね完了し、工事も佳境にさしかかっています。
宮城県内でも、このような地域高規格道路の現場を経験することは稀なことから、より一層の技術習得を図るべく、発注者、施工者合同の現場研修を開催しました。

日時：平成29年7月25日（火）
場所：みやぎ県北道路高速幹線道路中田工区内
参加者：宮城県11名 施工者20名
施工者：株式会社丸本組
研修内容：「I-Construction」を目指したICT技術による施工管理について

研修の様子



① 「ICT技術」機器の説明



② 作業機械の操作方法説明



③ 作業機械での施工実演



④ 施工後の実績解析

「i-Construction」とは

建設工事にICT技術(最先端の情報処理技術や新技術)を取り入れることにより、生産性や安全性を大きく向上させ、建設現場の労働条件の改善を図り、魅力のある建設現場をすることで、業界全体を発展させることを目的としています。

[ICT技術]の効果について

通常、道路工事をする時は、道路の中心線、幅員、高さ、勾配などを約20m毎に測量して、出来型の規格内に収めて道路を作ります。

今回、採用した「ICT技術」は測点間を「点」では無く「面」全体で管理することにより、通常の道路に比べ精度の高い管理がされており、より走行性が高い道路として完成されることが期待されます。

宮城県東部土木事務所登米地域事務所 道路建設第二班

〒987-0511

宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼150-5

電話：0220-22-5115

E-mail：et-tmdbkk2@pref.miyagi.jp



宮城県土木部